

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

「ごみ処理施設整備への 本市からの提案」に吉見町が 6月25日に公文書で回答

新たな枠組み（鴻巣市・北本 市・吉見町）への提案に

吉見町からの回答／広域での建設は事務の効率化が図られる。構成市町（鴻巣市・北本市・吉見町）は埼玉中部環境保全組合での実績があり基本的な考えが一致していることから『重要な選択肢』であるとの認識。

ごみ処理施設の建設候補地 （郷地・安養寺）での提案に

吉見町からの回答／現在の（吉見町）の地での建て替えは地元の約束で出来ない。鴻巣市・北本市が連名で建設候補地を提案してくれたことは意義深く重要な選択肢との認識。

郷地・安養寺の地元懇話会は 6月30日に開催された

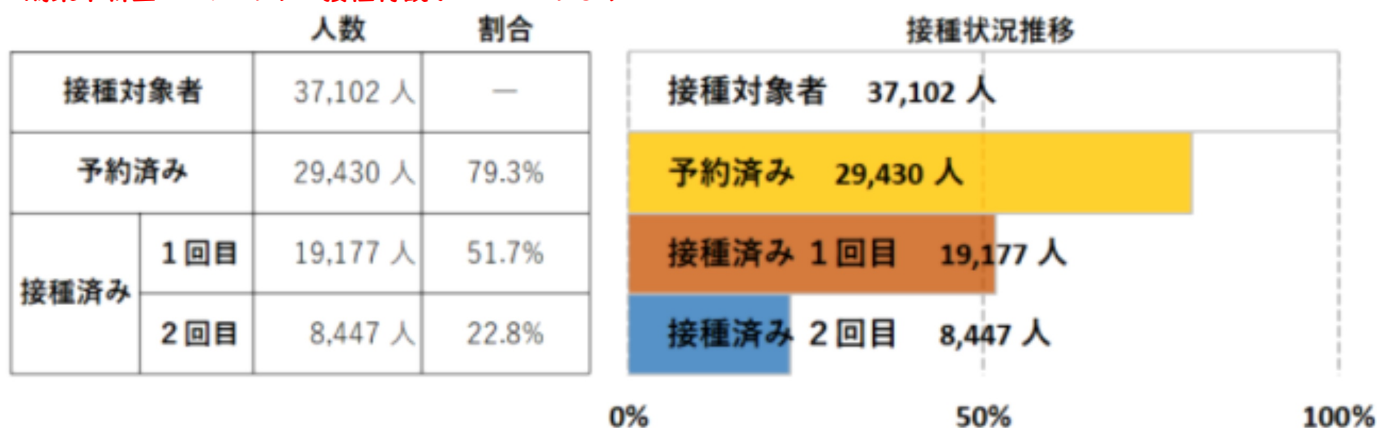
地元懇話会では、
温浴施設は造られるのか？白紙撤回となったが今回は大丈夫なのか？建設地として受け入れるのだから地元への見返りは必要。
などの意見が出されていました。



【新型コロナウイルスワクチン接種状況（65歳以上）】

2021年7月2日 時点

鴻巣市新型コロナワクチン接種特設ホームページより



- ・このデータはVRSによる、速報値を基に作成しています（掲載日 9 時頃確認）
- ・毎週月曜日、水曜日、金曜日に更新します（いずれも祝日の場合を除く）
- ・それぞれの割合は、転出入等の処理により変動します

今年もツバメ子育て奮闘中 神戸市営地下鉄総合運動公園駅



親鳥に向かって大きく口を開けるひな鳥

神戸市営地下鉄総合運動公園駅（神戸市須磨区緑台）で、今年もツバメが子育てに励み、続々と巣立たせている。いくつもの巣が並ぶのは、改札や支柱の真上。益鳥として歓迎する駅員たちは、ふんを受け止めるための段ボールを取り付け、成長を温かく見守っている。

同駅では毎年5月ごろからツバメが巣を作るという。数年前から段ボールで対策し、巣立ったツバメが戻ることも想定して、前年までのすみかも残し続けている。

ツバメが盛んに営巣する理由について、市交通局の西神中央管区駅長の吉田正樹さん（40）は「天井が高く、ひなが飛ぶ練習ができるからでは」と推測。ほかにも木々が多い神戸総合運動公園に豊富な餌があることや、カラスなどの天敵が少ないことなどが考えられるという。

6月下旬、巣にひしめき合っていた5羽のひなが相次いで巣立っていった。その巣ではすでに、次の親子が子育てを始めている。ひなたちを眺める吉田さんは「駅員も愛着が湧くみたい。見守りたい」とほほ笑んだ。（神戸新聞 7月3日付）



巣の下に駅員が取り付けた段ボール＝総合運動公園駅